

整理番号	102	事業名 〔地区名〕	道路調査事業〔一般国道121号 会津縦貫南道路 2工区 会津若松市〕	全体事業費 (百万円)	25,900	採択年度	H26	完成目標年度*	R2 (H32)	担当部(局)課名	土木部 高速道路室
------	-----	--------------	---------------------------------------	----------------	--------	------	-----	---------	-------------	----------	-----------

※完成目標年度は、標準的な工程を想定して設定しているが、毎年度の予算は担保されたものではなく、用地取得状況や施工上の条件変化等、不確定な要素があるため、確定したものではない。

評価対象理由	調査費予算化から5年を経過し継続中の事業	前回評価時の対応方針	委員会からの提言:無し、付帯意見等:無し、県の対応方針:新規着工準備
--------	----------------------	------------	------------------------------------

1 事業の概要

- 一般国道121号(会津縦貫南道路2工区)は、「福島県総合計画(ふくしま新生プラン)」及び「福島県復興計画(第3次)」の「県土連携軸・交流ネットワーク基盤強化プロジェクト」に位置づけられ、県土の骨格となる6本の連携軸の一つである会津軸を担う地域高規格道路として磐越自動車道及び会津縦貫北道路と一体となり高速交通ネットワークを形成するものである。



2 事業の進捗状況等

評価基準 A:特に問題なし、B:問題あるが解決の見込みあり、C:問題があり解決が難しい

(百万円)

全体事業費		事業 執行済額	年度別執行額	
前回	今回 (前回差比)		～30年度	31年度見込
25,900	25,900 (±0%)	265	265	210

(1)現状及び見通し [評価(A)・B・C]

- 平成10年度に計画路線に着手。
- 平成27年度から環境調査を実施。
- 令和2年度の調査完了を目指す。

(2)期待される効果 [評価(A)・B・C]

- 大規模災害時において、広域的な避難や緊急物資等の輸送を可能にする災害に強い交通体系を確保する。
- 南会津地域の主要産業である農業、観光業において、会津若松市までの出荷時間や移動時間が26分(108→82分)短縮することにより、観光の周遊化の促進等、地域活性化に寄与する。さらには、企業への立地誘導効果も期待できる。
- 南会津地域から、会津若松市内の第三次医療施設(会津中央病院)への到達可能時間が60分以内となる範囲が30%(21→51%)拡大するため、緊急性の高い外傷患者等の救命率が向上する。

(3)事業を巡る社会経済情勢の現状・変化、地元住民等の意向 [評価(A)・B・C]

- 一般国道118号若松西バイパス及び一般国道289号南倉沢バイパスが平成31年3月に全線供用されたことにより、広域的な道路ネットワークの形成が着実に進んでいるため、会津縦貫南道路の必要性がさらに高まっている。
- 地元商工会や教育関係者等が、会津縦貫道整備促進期成同盟会とともに、政府や国土交通省に対し、会津縦貫南道路整備の重要性及び必要性を強く訴えるとともに、早期完成を要望している。
- 本事業に期待する地元熱意は高く、会津若松市をはじめ沿線会津地方自治体の協力体制が確立している。

(4)評価指標の状況 [評価(A)・B・C]

評価指標	採択時(H26)	事業完成時	備考
南会津町～会津若松市間の冬期所要時間(通常期)	108分 (87分)	82分(-26分) (72分(-15分))	・2工区より先に、4・5工区が開通しているため、所要時間は2・4・5工区開通時のもの。

【その他参考となる数値】

・現況交通量(H27) 9,371台/日 → 将来交通量(H42(R12)) 9,740台/日

(5)費用対効果の状況・要因の変化 [評価(A)・B・C]

$$B/C = \frac{254.8+15.7+2.1}{183.1+6.3} = 1.44 \text{ (前回値1.70)}$$

[B]: 道路事業における総便益(走行時間短縮便益+走行経費減少便益+交通事故減少便益の合計)

[C]: 道路事業に要する総費用(道路整備に要する事業費+道路維持管理に要する費用の合計)

・H22OD交通量について、今回のH22道路交通センサスペースが前回のH17道路交通センサスペースより減少したことにより、便益(B)が前回より減少し、費用対効果も減少した。

【参考値】

$$B/C = \frac{254.8+15.7+2.1+24.6^{*1}}{183.1+6.3} \times 1.642^{*2} = 2.58$$

*1: 追加便益: 24.6億円(冬季の交通効果・CO2の排出削減効果・救急救命へのアクセス向上効果)

*2: 地域修正係数: 1.642(会津)

(6)コスト削減の取組・代替案の検討状況 [評価(A)・B・C]

- 経済性を考慮した道路計画(土工バランス等)
- 新技術の活用(多面的な橋梁タイプの検討等)
- 他事業残土を流用し、コストを削減。
- 代替案については、隣接工区との接続位置、構造物を減らすための平地(並行する一級河川阿賀川と山地に挟まれた会津平野)を通る計画ルート、周辺集落への影響を踏まえると、ルート変更の可能性は無い。

3 評価

(1) 県の対応方針案	(2) 理由
事業継続	前回評価時と同様の効果発現が見込まれ、磐越自動車道及び会津縦貫北道路と一体となって高速交通ネットワークを形成し、地域の発展に寄与するため、現計画のとおり事業化に向けて進める必要がある。